



鈴与建設株式会社

小林 聖平

(2015年入社)

これまで、橋梁下部工事・橋梁補修工事や港湾・海岸工事に携わってきました。本工事では、現場代理人として現場の施工管理に従事しています。

□工事概要

1号清水立体事業における橋脚2基(P3,P4)の築造

＜1号清水立体事業について＞

国道1号静清バイパスの、清水区横砂東町から八坂西町の区間を、交通渋滞減少と周辺環境を守るために立体化する事業です。

□工事状況

現在は、P4橋脚を施工するにあたり、躯体に干渉してしまう地中障害物(既設水路)の撤去作業を行っています(写真)。撤去完了後、既製杭工・土留工と続き、いよいよ躯体工へと続きます。

□建設業を選んだ理由

小さい頃から工事現場を見るのが好きで、日に日に景色が変わりモノが出来上がっていく光景を見て「すごいなー」と単純に心惹かれました。きっかけはありきたりですが、当時の私にとってはとても興味深く魅力を感じました。

□現場での役割

発注者の方や業者間の工程調整、工事書類の作成、地元の対応など様々な業務に携わっています。現場では安全管理や材料などの品質管理を行い、より良い物づくり・より良い現場環境を心掛けながら日々励んでいます。

また、現場作業員の方々とのコミュニケーションを積極的に取り、お互い意見を出し合いやすい関係を構築し、現場の声に沿った現場作業環境の快適化・向上を目指しています。

□未来をつくる若手技術者の皆様へ

この仕事の魅力は、様々な苦労を超えて自分たちで造ったものが地元の方々に喜んでいただいたり、今後何十年とその地域に貢献できると実感できることです。万が一災害が起こってしまった時も、1日も早く復旧するために尽力し、地域を支えるのも建設業であり、自分たちの仕事が地域の交通基盤を支えていると実感できます。こういった「実感」が「やりがい」にも変わっていきますし、非常に魅力ある仕事だと思います。

3K(きつい・きたない・きけん)といわれた建設業ですが、今は新3K(給与・休暇・希望)を提唱してより良い産業へ変わろうとしています。こういった建設業全体が変わろうとしているこれからの時代を作り支えていくのも私たち若手技術者の役割であり大きな魅力の一つだと思います。若手技術者の皆さん、私もまだまだ若手ですが、今後の建設業を明るくより良い産業にしていきたいと思います。